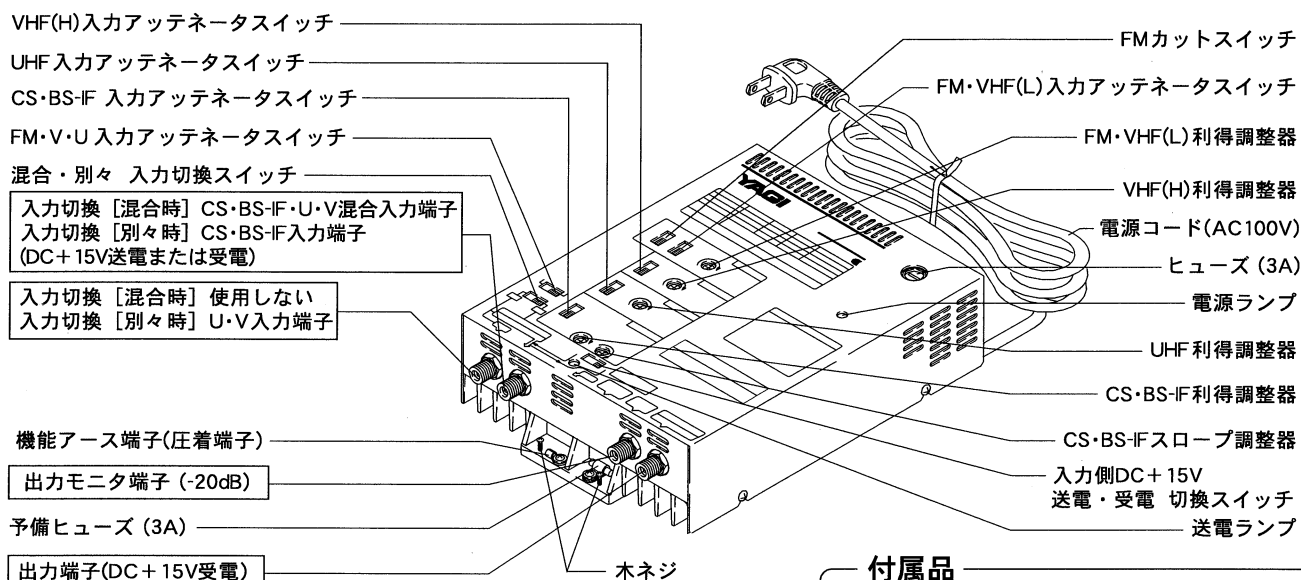
保証書付
(裏表紙の下側が保証書になっています。)

取扱説明書
共同受信用CS・BS・U・Vブースタ
DSWP40W AC100V/DC+15V共用(屋内専用)

お買いあげいただき、ありがとうございました。
ご使用の前に、必ずこの「**取扱説明書**」と「**保証書**」そして別紙の「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

◆外観・各部の名称

付属品
・F形接栓：FP-5(3個)　・木ネジ(1個)

◆特　長

- 本器は、広帯域・高出力なため、大規模共同受信システムに使用できます。
- 帯域ごとの利得調整器や入力アッテネータなどにより、調整範囲が広いため、さまざまなシステムに対応できます。
- スイッチにより、U・VとCS・BS-IFの混合入力・別々入力が切り換えられ、ライン用・ヘッド用のどちらにも使用できます。
- 本器は、内蔵電源 (AC100V)または外部電源 (DC+15V)のどちらでも動作させることができます。
- 外部電源 (DC+15V)は、出力端子のほか、CS・BS-IF信号の入力端子からも受電できます。
- CS・BSコンバータ用電源として、DC+15V (最大6W) を送電できます。

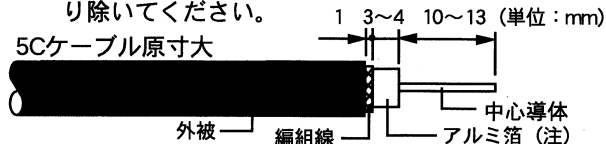
◆使用上のご注意

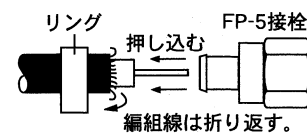
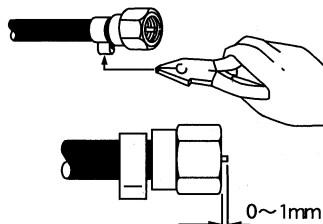
- ブースタの設置工事には専門知識が必要です。工事は専門業者の方に依頼してください。
- スイッチや利得調整器などは無理な力が加わると壊れることがあります。操作する場合は慎重にお取り扱いください。
- 本器は屋内専用です。やむなく雨水のかかる場所でご使用の場合は、防水ケースに入れた上で設置してください。
- 通気性の悪い収容箱 (分電箱等) に入れてご使用になる場合は、放熱を良くしていただくため、1台までの収容としてください。
- 本器のDC+15V送電機能は、CS・BSコンバータ用です。他のブースタなどを動作させることはできません。
- 本器を外部電源で動作させる場合、必ずDC+15V出力のものをご使用ください。
  AC30V出力など、他の電源を本器に重畳しないでください。火災・機器の焼損の原因になります。
- 同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。傷つけたり、無理に曲げたりしないでください。
- 機器のケーブル接続は、間違えないように、正しく確実に行ってください。
- 電源を供給する前に必ず機能アース線を接地してください。
- 本器への電源供給は、必ずすべての配線工事が終了してから行ってください。
- CS・BSコンバータへの送電は、ケーブルの接続と途中に挿入する機器が電流通過形かどうかを 充分に確認してから行ってください。
- ヒューズを交換する場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後、付属のヒューズまたは同一定格および形状のものをご使用ください。

八木アンテナ株式会社

◆ケーブルの加工とF形接栓の取り付け方法

ケーブルはS-5C-FBなど、衛星放送受信用低損失同軸ケーブルをご使用ください。
F形接栓の取り付けは、接触不良やショートを防ぐため、ていねいに行ってください。
付属のF形接栓（FP-5）は、5Cケーブル用です。

①ケーブルを図のように加工してください。
※中心導体の付着物は、接触不良をさけるため、必ず取り除いてください。

注：図のアルミ箔部分は、同軸ケーブルの種類によってはアルミ箔がなく、その内側の絶縁樹脂となるものもあります。

②ケーブルにリングを通し、FP-5接栓をアルミ箔と編組線の間に押し込んでください。編組線はあらかじめカッターナイフの先端などで折り返しておいてください。

③リングをペンチで圧着し、FP-5接栓がケーブルから抜けないようにしてください。

④中心導体をニッパーなどで図の寸法に切断して完成です。

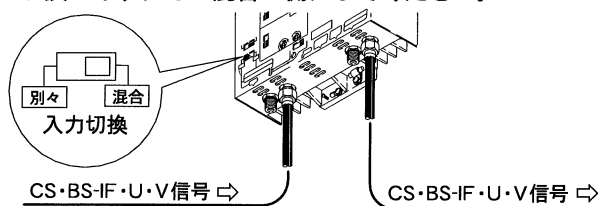
ご注意
中心導体が長すぎると機器の端子が破損します。
先端は必ず0～1mmに切断してください。

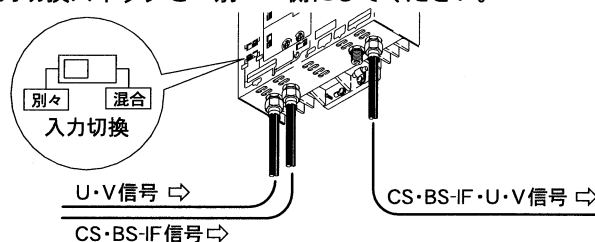
⚠警告
- 同軸ケーブルには電流が流れることがあります。中心導体と編組線がショートしないようにしてください。火災・感電の原因になります。

※S-5C-FB（中心導体径φ1.05mm）より中心導体の太いケーブルを使用する場合は、必ず中心ピン付きのF形接栓（別売）をご使用ください。機器の端子が破損します。

◆ケーブルの接続方法

●混合（ライン）入力の場合

入力切換スイッチを"混合"側にしてください。

●別々（ヘッド）入力の場合

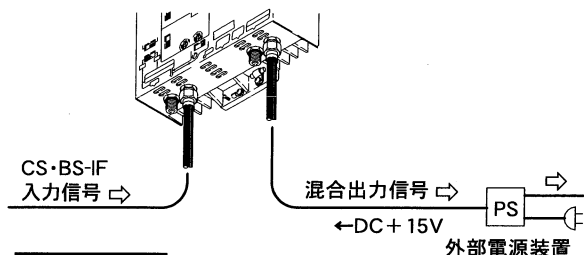
入力切換スイッチを"別々"側にしてください。

ご注意
- F形接栓は2～3N・m（約20～30kgf・cm）のトルクで締め付けてください。
- 電源を供給する前に必ず機能アース線を接地してください。※アース線はφ1.6mm以上のIV線（市販品）をご使用ください。

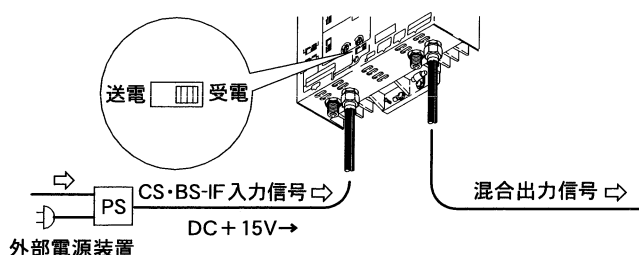
◆電源の供給方法

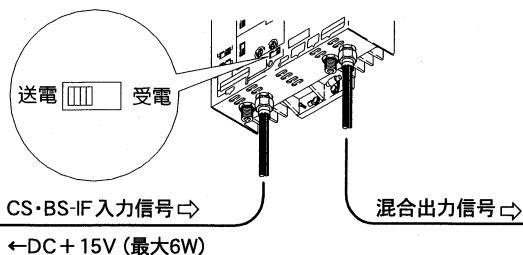
- 本器は、内蔵電源（AC100V）または外部電源（DC＋15V）のどちらか一方で動作させることができます。（電源の供給と同時に電源ランプが点灯します。）
- また外部電源（DC＋15V）は、出力端子のほか、CS・BS-IF信号の入力端子からも受電できます。
- 外部電源装置は、別売のPSD150（DC＋15V、1.5A）をご使用ください。
  CS・BSチューナやテレビ、ビデオなどのコンバータ用電源では電源容量が足りないため、使用できません。
- 外部電源装置：PSD150より本器に電源重畳する場合、重畳可能なケーブル長さは、5Cケーブル使用時：約25m、7Cケーブル使用時：約50mです。

●内蔵電源（AC100V）を使用する場合

電源プラグをAC100Vコンセントに差し込むことにより動作します。

●外部電源を出力端子から受電する場合

●外部電源をCS・BS-IF信号の入力端子から受電する場合

入力側DC＋15V送電・受電切換スイッチを"受電"側にしてください。
※この場合、CS・BSコンバータへの送電はできません。

⚠注意
- 電源の供給は、必ずすべての配線工事が終了してから行ってください。火災・感電・機器の焼損の原因になります。
- 本器を外部電源で動作させる場合、必ずDC＋15V出力のものをご使用ください。AC30V出力など、他の電源を本器に重畳しないでください。また既存の施設に本器を設置する場合、AC30Vなど、他の電源が重畳されていないことを必ず確認してください。火災・機器の焼損の原因になります。

◆CS・BSコンバータへの送電方法

- CS・BS-IF 信号の入力端子から、CS・BSコンバータへDC＋15V（最大6W）を送電できます。

  ※その他の端子からは送電できません。
  ※またCS・BS-IF 信号の入力端子から外部電源を受電している場合は、送電できません。
- 接続を確認し、入力側DC＋15V送電・受電切換スイッチを"送電"側にしてください。送電ランプが点灯します。

  ※本器のDC＋15V送電機能は、CS・BS コンバータ用です。他のブースタなどを動作させることはできません。

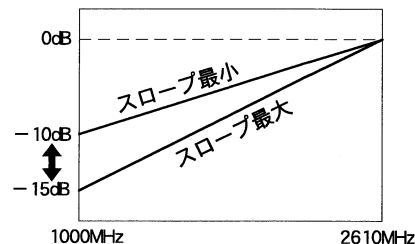
⚠注意

- CS・BSコンバータへの送電は、ケーブルの接続と途中に挿入する機器が電流通過形かどうかを充分に確認してから行ってください。火災・機器の焼損の原因になります。
- CS・BSコンバータへ送電しないときは、必ず入力側DC＋15V送電・受電切換スイッチを"受電"側にしてください。火災・機器の焼損の原因になります。

◆調整方法

- 出力レベルの調整は、FM・VHF (L)、VHF(H)、UHF、CS・BS-IFの４帯域について、独立して行います。
- 各調整器は出荷時、下記の状態にセットされています。
  - ○ 利得調整器：最小
  - ○ スロープ調整器(CS・BS-IFのみ)：最小
  - ○ 入力アッテネータスイッチ："－10dB"側
  - ○ FMカットスイッチ："増幅"側

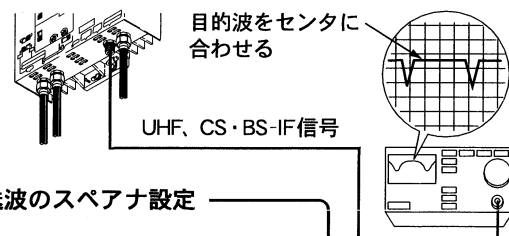
  ※**利得調整器**：0 ～ －10dBの範囲で連続可変し、時計方向に回すと利得が大きくなり出力レベルが上がります。
  ※**FM・V・U入力アッテネータスイッチ**：FM・VHF (L)、VHF(H)、UHF、の３帯域の入力レベルを一括して下げることができます（－10dB)。
  各帯域の入力アッテネータスイッチ（－10dB)と併用することにより、入力レベルを20dB下げることができます。
  ※**CS・BS-IF スロープ調整器**：2610MHzを基準とした1000MHzにおいて、－10～－15dBの範囲で連続可変し、時計方向に回すとスロープ（傾斜)が大きくなります。

- 出力モニタ端子でレベルを監視しながら出力レベルを設定してください。出力モニタ端子レベルは－20dBです。測定値に20dB加えた値が出力端子レベルとなります。各周波数帯域の出力端子レベルは下記の値以下に設定してください。

周 波 数 帯 域	FM・VHF (L)	VHF (H)	UHF	CS・BS-IF
出力端子レベル (dBμ)	115 (2波)	115 (5波)	120 (2波)、115 (※)	103/113 (1000/2610MHz、36波)

※：アナログ７波＋デジタル９波（デジタル－10dB運用）

◆デジタル放送波の出力レベル確認方法（スペクトラムアナライザ使用）

スペクトラムアナライザは、SPAN(表示周波数)、RBW(分解能帯域幅)、VBW(映像フィルタ)を下記の値に設定します。最大値に補正値を加えた値が出力レベルになります。

出力レベル ＝スペクトラムアナライザの最大値＋補正値

デジタル衛星放送波のスペアナ設定

SPAN・・・50MHz、RBW・・・1MHz 、VBW・・・300Hz

CSデジタル補正値：15.0dB
BSデジタル補正値：16.3dB

地上デジタル放送波のスペアナ設定

SPAN・・・10MHz、RBW・・・100kHz、VBW・・・1kHz

地上デジタル補正値：19.2dB

＜無料修理規定＞

持ち込み修理

1．お買い上げの日から１年間、取扱説明書、製品自体に表示した注意書きなどに従った正常な使用状態において、万一故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2．無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または直接弊社にお申しつけください。
3．ご転居やご贈答品などで、本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、直接弊社にご連絡ください。
4．保証期間内でも次の場合には、原則として有料とさせていただきます。
  (イ) 施工・使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
  (ロ) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
  (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源などによる故障および損傷。
  (ニ) 車両および船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷。
  (ホ) 本書のご提示がない場合。
  (へ) 本書の、お買い上げ年月日、お客様、販売店の各欄に記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※　この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合には、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
※　This warranty is valid only in Japan.

故障内容：機器改良にも役立ちますので必ずご記入ください。

◆ケースの取付方法

付属の木ネジを壁面に取付け本体を引っ掛け、木ネジ３本を締め付けて本体を固定します。

●本器は屋内専用です。雨水のかかる場所には防水ケースに入れた上で設置してください。
●本器は、図のように必ず縦方向に取付けてください。

⚠警告

●本器は屋内専用です。風雨にさらされる屋外や水のかかる場所には設置しないでください。ショートして火災・感電の原因になります。

⚠警告

●機器の質量（重量)に耐えられる場所に設置してください。落下によりケガの原因になることがあります。

⚠注意

●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気のあたる場所には設置しないでください。火災・感電の原因になることがあります。

⚠注意

● 本器を防水ケースなど通気性の悪い収容箱に入れて使用する場合、収容箱は500（縦)×500（横)×140（奥行）mm以上のサイズのものを使用し、１台までの収容としてください。本体の発熱で故障の原因になることがあります。
● 本器と共に収容箱に入れる機器は、発熱しないものを選んでください。収容箱内部の温度が上がり、機器の故障の原因になることがあります。

◆標準仕様

項目	性能・規格				備考
周波数帯域 (MHz)	FM・VHF (L) 76～108	VHF (H) 170～222	UHF 470～770	CS・BS-IF 1000～2610	FMカット機能付
利得 (dB)	30	35	40	30／40	CS・BS-IF：
定格出力レベル (dBμ)	115 (2波)	115 (5波)	120 (2波)、115 (※1)	103／113 (36波)	1000／2610MHz
利得調整範囲 (dB)	0～−10	0～−10	0～−10	0～−10	連続可変
入力アッテネータ (dB)	0，−10 (−10，−20)	0，−10 (−10，−20)	0，−10 (−10，−20)	0，−10	スイッチ切換、 ( )内 FM・V・U入力 アッテネータ併用時
スロープ調整範囲 (dB)	―――	―――	―――	−10～−15(1000MHz)	連続可変
雑音指数 (dB)	5以下			8以下	最大利得時
入出力インピーダンス (Ω)	75				F形接栓
VSWR	2.5以下		3.0以下	2.5以下	
混変調 (dB)	−46以下			―――	
IM3 (dB)	−52以下	−58以下	−68以下	−63以下	
ハム変調 (dB)	−60以下				
出力モニタ (dB)	−20				
耐雷性	±15kV（1.2／50μs)				
直流送電電圧 (V)	＋15±10%				容量6W
電源	AC 100V 50／60Hz 19W (6W送電時 26W) DC＋15V 0.9A (6W送電時 1.3A)				
使用温度範囲 (℃)	−10～＋40				
寸法 (mm)	(高さ) 244 × (幅) 174 × (奥行) 57				
質量 (kg)	約1.7				

※１：アナログ７波＋デジタル９波（デジタル−10dB運用)

● この製品は今後改良・性能向上のため、形状及び特性を変更することがあります。

八木アンテナ株式会社
〒337-8502 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1406
http://www.yagi-antenna.co.jp

■ 製品に関するお問い合せ ■
048-687-8198
ご利用時間(土・日・祝日・弊社休業日を除く)
9:00～12:00 13:00～17:00

M300203077-10.03